



NPO法人 大谷石研究会



大谷石の魅力为全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

# 日本遺産認定

## 「地下迷宮の秘密を探る旅 〜大谷石文化が息づくまち宇都宮〜」

宇都宮市教育委員会事務局文化課長 松本邦夫

平成30年度の認定審査には、全国から76件の応募があったところですが、本市申請の「地下迷宮の秘密を探る旅 〜大谷石文化が息づくまち宇都宮〜」が認定13件の中に選ばれ、5月24日、文部科学大臣から認定証が交付されました。

大谷石研究会の皆様には、昨年度「石の街うつのみやシンポジウム」を開催いただき、日本遺産認定に向けた機運を大いに盛り上げていただいたほか、数々の貴重な資料やデータの提供をいただくなど大変お世話になりました。心から感謝を申し上げます。

本市申請の「地下迷宮の秘密を探る旅 〜大谷石文化が息づくまち宇

都宮〜」がこの度、めでたく認定証が交付されました。

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を進めるものであり、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに、全国100か所程度の認定を行い、日本の魅力を国内外に発信していくこととする文化財版のクールジャパン戦略といえる施策であります。

宇都宮市民にとっては大谷石があまりにも身近すぎる存在なこともあり、その本質的な価値があまり顧みられず、過小に評価をされてきたかのように感じているのは私だけではないと思います。今回、日本遺産として位置づけられたことにより市民自らがその魅力を再認識し、今後の地域活性化につながる大きな好機になると胸を膨らませております。



旧帝国ホテル・ライト館(大正12年築)、写真は明治村に移築されたもの



自由学園・明日館(大正10年築)

共にF・L・ライトの設計により、大谷石が使われ一躍近代建築の素材として脚光を浴びるようになった。